

後期高齢者医療制度は

廃止するしかない

おじいちゃんは後期高齢、私は国保。2人別々で負担はふえた。



農業しかしてこなかったから年金は少ない。なのに、こんなに取るなんて…。

100歳まで生きようと思っていたのに、こんな制度をいれられたら生きていけない。(92歳・男性)

広がる廃止めざす動き

- 7 530以上の地方議会が「中止」などの意見書
- 2 茨城県医師会など抗議し中止・撤廃を要求
- 3 国会では、野党4党が「廃止法案」を共同提案

●保険料(平均年額5万3千円)を年金から「天引き」。2年ごと自動的引き上げ。

●老人は、「治療に手間と時間」「認知症が多い」「やがて死を迎える」(政府)とい、高齢者への差別医療を強要。

後期高齢者医療制度とは

「廃止」は吉川住民の願い はしづめ法一に託してしめそう

声をあげ行動すれば、「後期高齢者医療制度」は廃止できます。はしづめ法一は、喜寿、米寿、卒寿…高齢を祝う社会を取り戻します。あなたの意思をハッキリしめしましょう。



農業再生プラン

日本共産党は、自民党農政を転換する「農業再生プラン」を発表。
1 俵1万8千円の生産者米価の実現など、価格保障・所得補償で農産物の自給率を向上させ、担い手育成、食料主権の確立をめざします。
2 農業者と消費者の共同を広げて、「食の安全」と地域農業の再生を提案しています。

全国農協中央会とも対話

「再生プラン」で志位和夫委員長と懇談した農協中央会の広瀬竹造副会長は、「プランをだしてもらい、国民合意が得られる政策のあり方を踏み込んで話し合える」と述べました。
県内の農協でも、「早く実現してほしい」といなどの声がかかります。

国の悪政と対決 はしづめ法一

願い実現の力は、正論をはくことと、党派をこえて共同することです。
はしづめ法一は、悪い政治とキツパリと対決し、みなさんと力をあわせて、後期高齢者医療制度の廃止、農業再生に全力でがんばります。



もう1人の方は… 一言もいわない

「国や市が悪いとならばたてても…」(後援会資料)と、国の悪政には一言もありません。

「お上に文句をいうな」「がまんしろ」というのでは、くらしも地域も守れません。



国に対してもハッキリももの申す人でないといくらしも地域も守れません

吉川民報

2008年4月 号外
日本共産党吉川支部

日本共産党吉川支部の見解をお知らせします。
ご意見・ご感想をお寄せください。
【連絡先】 電話 548-3628

くらしが大変!! はしづめ^{さん}がいないと私らが困る

3年間の実績がしめす はしづめ^{さん}の議席の値打ち

これからも「市政レポート」をよびつけてほしい

吉川を情報過疎にはなりません。これからも「市政レポート」を発行し、市政のこと、吉川の情報をお届けします。

「周辺部はみすてられる」の不安に「たえ

13区に市政の光をあてる

「高齢化がすすむ集落」の調査と報告書をまとめさせ、市政の光をあてさせました。

はしづめ市議は、「13区議員の会」の事務局を担い、周辺の声をまっすぐ届ける先頭にたっています。

上越全体でも……

橋爪さんは吉川区の人ですが、市民にたいする誠実さや論戦力は定評があります。いまや上越市全体にとっても、絶対欠かせない議員さんです。

上越市平成町在住

藤井和則

くらしと地域のために
身も心もよせてがんばる

「大雨で県道が崩落したとき、橋爪さんは大島区経由で上川谷に何十回も通ってくれました。心をよせて一生懸命がんばってくれる人です」

上川谷 田辺シズエ



地域のために、党派をうけて共同

中越沖震災対策では、吉川の代表として、どの党派の人とも、ともに問題解決にあたってきました。

吉川の代表に拍手

議会のテレビ中継をよく見ている人が、「吉川の人はいいい代表をだして幸せだな」といっていました。吉川区にかかわりのある者として、うれしく思いました。私も傍聴したことがありますが、橋爪さんはすばらしい人です。

大潟区在住 渡辺直美

みなさんと力あわせて実現します



柿崎病院の存続・充実

介護サービスの充実と負担軽減
国保税の2万円引き下げ

“時給1000円条例”の制定
企業誘致と正規雇用の拡大

中学校卒業まで子ども医療費を無料に
無料の妊婦健診を15回まで拡大

地産地消・価格補償で食の安全と農業再生を

集落懇談会と「住民アンケート」を
これからも続けます

ふるさととは母
ふるさととは命

県の統廃合計画で、柿崎病院の存続が危ぶまれる事態に。はしづめ法一議員は、多くの方と力をあわせて「柿崎病院後援会」を再結成し、議会質問で市長が「存続・充実の先頭にたつ」と約束をえました。

のりがずメモ